

**令和5年度 福岡県高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
新型コロナウイルス感染対策 ガイドライン**

(1)事前の対応について

- 主催者及び各チームに「感染対策責任者」を設置する
(主催者:専門委員長、各チーム:引率責任者もしくは部顧問)
- 大会7日前から検温・健康チェックを行い、それぞれ指定された健康チェックシートに記載しておく
- 「感染対策責任者」は、参加者(入館者)を把握し連絡先等について管理する
(集めたデータについては、大会後、責任を持ち破棄する。)
- 以下の事項に該当する場合は、自主的に大会参加を控える
 - (ア) 体調不良の場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - (イ) 濃厚接触者である疑いがある場合(同居家族や身近な人に感染を疑われる方がいる)
 - (ウ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

(2)会場における感染対策

※会場では、引き続き3密の回避、飛沫拡散リスクの回避(咳エチケット、マスクの適宜着用等)、手指消毒、共用物の消毒等により、基本的な感染対策に努める

- 来場について
 - ・決められた時間に来場
 - ・受付で健康チェックシートの提出(各チームにて確認、保管)
 - ・役員、来賓、審判等は本部に健康チェックシートを提出すること
- 諸室、更衣室
3密の回避(適切な人数制限、時間制限、換気)、マスクの着用、手指消毒液の設置、使用後の消毒
- マスクの着用について
会場内では個人の判断に委ね、政府の方針に従うことを原則とするが、以下の状況においてはマスクを着用することとする。(3月29日現在)※政府の発表により、適宜変更することがあります
 - ・大きな声で応援、会話を行う際
 - ・2m以内の距離で、対面で会話をする際
 - ・換気の悪い場所(窓の少ない諸室、更衣室等)
- タオル、飲料用ボトル等の共有は行わない
- ベンチ、応援席についてもできる限りディスタンスをとった配置とすること
- 館内は常時換気に努める(雨天時は、ハーフタイム・試合間に換気を行う)
- ベンチ・TO等の共有物は、試合終了ごとに使用したチームが消毒を行うこと

(3)感染が判明した場合

※感染が確認された者、濃厚接触者と特定された者は大会への参加はできない

- ① チーム内に感染者、濃厚接触者が判明した際、顧問(感染対策責任者)は速やかに学校長に連絡を取り、チーム出場の可否について判断を仰ぐ
- ② 顧問(感染対策責任者)は、各ブロック専門委員長に報告を行う
- ③ 各ブロック専門委員長は、県専門委員長に報告を行う
- ④ 県専門委員長は、福岡県高体連事務局に報告を行う

※大会の延期・中止、大会規模の縮小については、大会決定事項に定める

【JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)第6版(2023, 3, 13)を参考に作成】